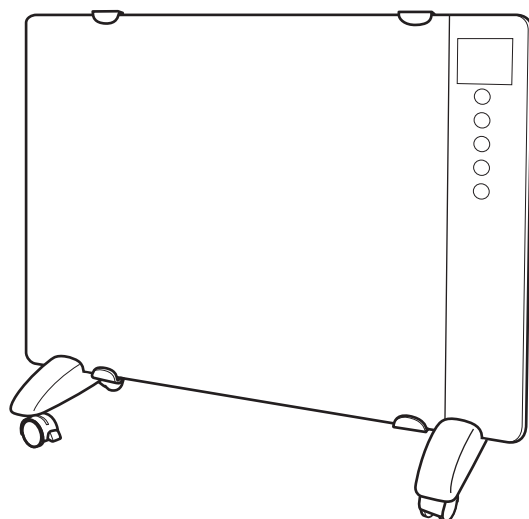


自然対流式ヒーター DPH-1501

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

安全上のご注意	 P. 2～3
各部の名称とはたらき	 P. 4
組み立てかた	 P. 5
正しい使いかた	 P. 6～9
お手入れと保存	 P. 10
修理・サービスを依頼する前に	 P. 11
アフターサービスについて	 裏表紙
保証書	 裏表紙

仕 様

型 名	DPH-1501
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強 1000W / 弱 500W
ヒーター	シーズヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ）/ 温度ヒューズ / サーモスタット
電源コード長さ	約 1.8m
外形寸法	約 幅 600 × 奥行 290 × 高さ 520mm
質 量	約 6.6kg
付 属 品	取扱説明書・保証書×1、キャスター付きベース×2、キャスター付きベース取り付け用ネジ×2、リモコン本体×1、リモコン用コイン形リチウム電池（CR2032）×1

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

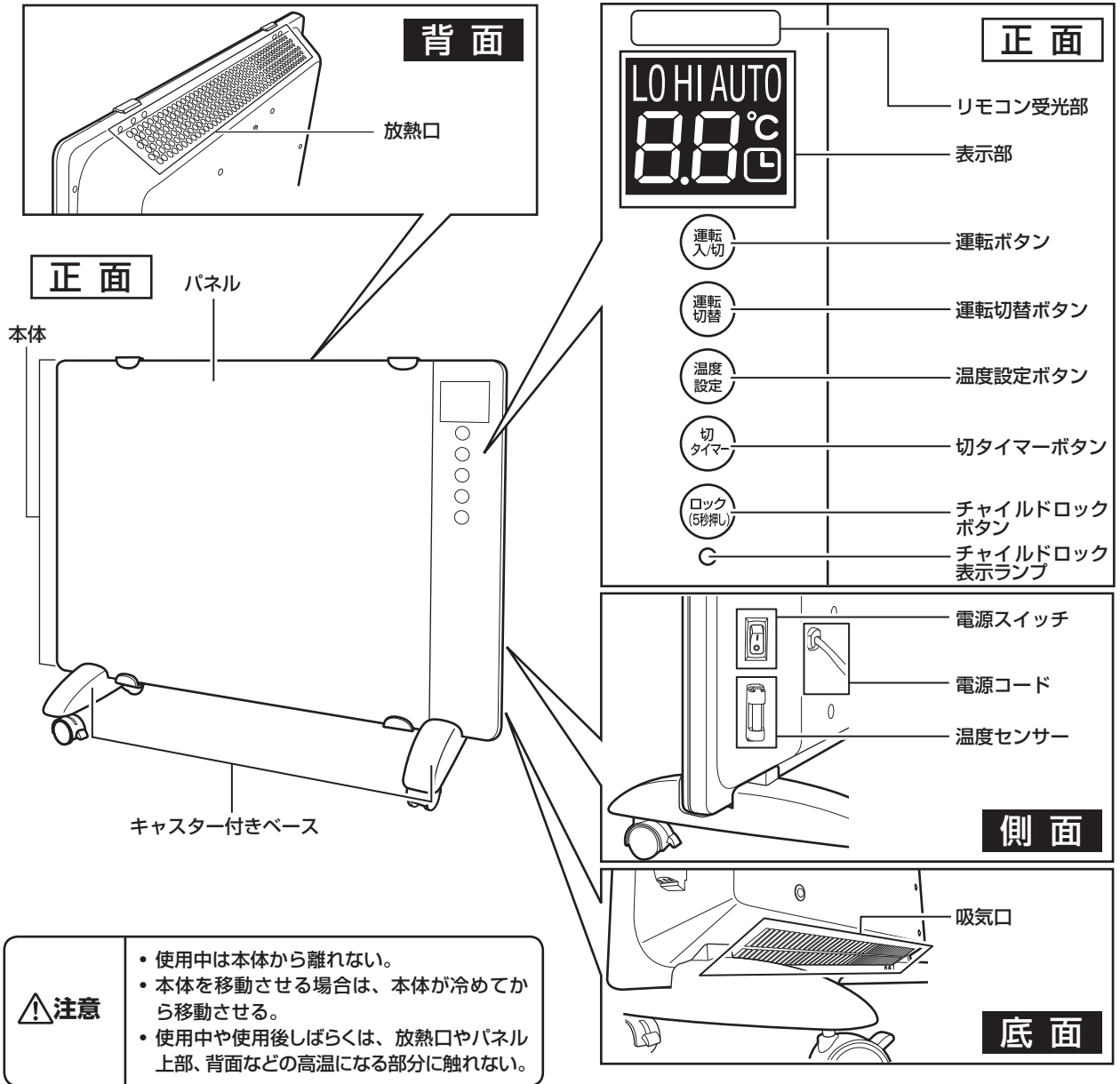
警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。		使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の方は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドゥンシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱や火災、やけどの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	可燃性ガス・腐食性ガスが発生する場所、たまる場所では使用しない。 割れ・穴あきが生じ、引火・漏電の原因になります。
	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		

注意

 禁止	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	衣類や洗濯物をのせたり、かけたりしない 火災・感電・故障の原因になります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		使用中、使用後しばらくは、放熱口やパネル上部、背面などの高温になる部分に触れない。 やけどの原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。 電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。

各部の名称とはたらき



安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き電源が切れます。
- 温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。(温度が下がると運転を開始します。)
- さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください。)

専用リモコン



組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	リモコン本体	1 個
キャスター付きベース	2 個	リモコン用コイン形リチウム電池 (CR2032) ...	1 個
キャスター付きベース取り付け用ネジ	2 個	取扱説明書 (保証書含む)	1 個

⚠注意

- ・組み立てを行わず（キャスター付きベースを取り付けずに）運転をしない。
- ・組み立てを終えて、キャスターのロックをしてから電源プラグをコンセントに差し込む。
- ・吸気口・放熱口をさえぎるような環境には置かない。

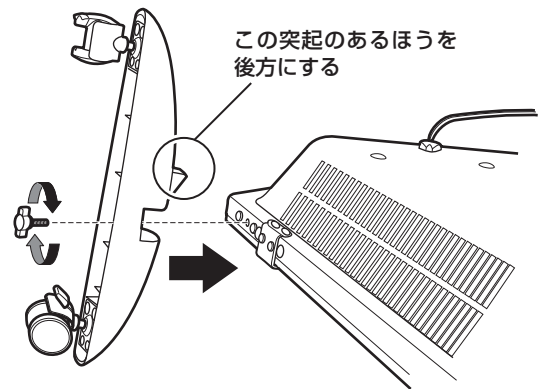
本体の組み立てかた

1. 本体をテーブルなどの上に寝かせる

- ・本体にキズが付かないように、テーブルなどには大きな布を敷いておいてください。

2. 本体に、付属のキャスター付きベース取り付け用ネジを使って、キャスター付きベースを取り付ける

- ・キャスター付きベースを取り付ける時は、突起のあるほうが後方になります（逆方向にはきちんと取り付けることができません）。
- ・2箇所のネジをしっかりと取り付けたあと、十分気をつけてテーブルなどからおろし、床に設置してください。



本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ（安全装置）の音であり、異常ではありません。

リモコンに電池を入れる

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

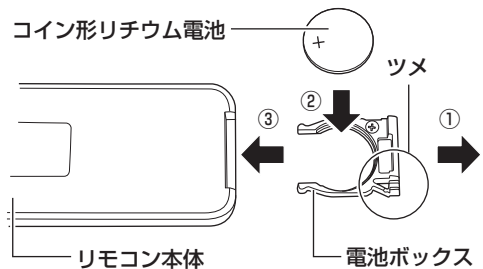
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。

2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする②

電池の⊕側を上にしてセットしてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。



使用可能範囲

- ・本体正面から直線で約 4 m
- ・本体正面から左右に約 30 度
- ・リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

- ・電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、＋を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を正しく設置する

安定した水平なところへ、右図を参考に周囲から距離を保つことのできる場所に設置してください。

※ 小さなお子様がいるご家庭でご使用される場合は、市販の暖房機用保護ガードを使用するなどして容易に高温部に触れないようにご注意ください。

2. キャスターをロックする

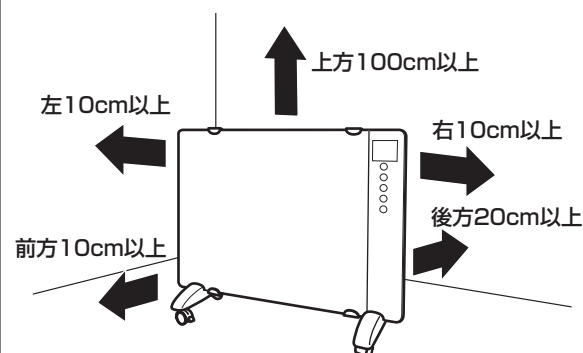
電源コードを踏んでいたりしないか確認してください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源スイッチが「切」になっていることを確認の上、コンセントに差し込んでください。

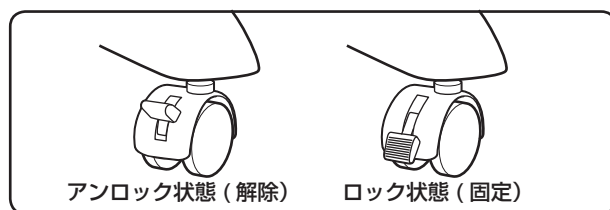
本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください（火災の原因になります）

本製品の設置は以下の点に注意してください。



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所（本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や、転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。）



警告

- 定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
- 本体に衣類等をかけて使用しない。
火災ややけど、本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱、発火のおそれがあります。
- 外出などで本製品から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、運転が停止していることがあります。温度が下がると、自動的に運転を開始しますので、消し忘れや火災の原因になります。

運転の開始／停止

1. 本体の電源スイッチを「入」にする

ピッと音がして、表示部に「—」が表示されます。

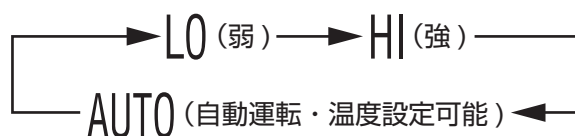
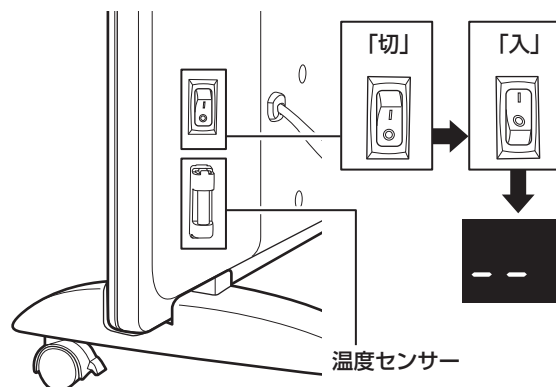
2. 本体の運転ボタン^(運転入切)を押して運転を開始する

LO（弱）モードで運転が開始されます。

※ リモコンで運転の開始はできません。

3. 運転切替ボタン^(運転切替)（本体／リモコン）を押して運転を切り替える

運転切替ボタン^(運転切替)を押すたびに運転モードが切り替わります。



4. (AUTO(自動運転)にしたとき)温度設定ボタン^(温度設定)(本体／リモコン)を押して温度設定をする



- ①温度設定ボタン^(温度設定)を押すと温度表示が点滅に変わり、24℃(初期設定)から温度設定ボタン^(温度設定)を押すたびに設定温度が1℃ずつ上昇します。

※本体の温度設定ボタン^(温度設定)を長押しすると、表示が早送りされます。

- ②最高設定温度である30℃を超えると、最低設定温度である18℃に戻ります。

- ③設定したい温度が表示されたら、温度設定ボタン^(温度設定)を押すのをやめます。約10秒後に表示が点滅から点灯に変わります。

これで設定完了です。

※本機は最後に操作をしてから連続8時間運転を続けると、自動的に運転を停止します(8時間自動停止機能)。

- ④室温が設定温度より低い場合は、暖房運転を行い、高い場合は暖房運転を停止します。

※室温は製品に取り付けられている温度センサーが感知する製品周囲温度となります。

5. 本体の運転ボタン^(運転入切)、もしくはリモコンの切ボタン^(切)を押して運転を終了させる

6. 電源スイッチを「切」にして、電源コードを抜く



注意

- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、放熱口やパネル上部、背面などの高温になる部分に触れない。やけどの原因になります。

正しい使いかた（つづき）

切タイマーを使用する

設定した時間に、運転が停止します。

1. 運転中に切タイマーボタン^{切タイマー}（本体／リモコン）を押して運転停止までの時間をセットする

- ① 表示部に^{切タイマー}と^{切タイマー}が点滅を開始します。
- ② 切タイマーボタンを押すたびに設定時間が切り替わります。1 時間単位で最大 4 時間まで設定することができます。



※本体の切タイマーボタンを長押しすると、表示が早送りされます。

設定後、約 10 秒間表示が点滅し、その後点灯に切り替わります。

これで設定完了です。

- ③ LO（弱）、HI（強）モードで運転しているときは、切タイマーの設定時間が表示されます。

・ AUTO（自動運転）モードで運転しているときは、切タイマーの設定時間と設定温度が交互に表示されます。

※切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間が表示されます。



切タイマーを解除するには

切タイマーボタン^{切タイマー}（本体／リモコン）を何度か押して表示を--にします。

切タイマーの時間を変更するには

切タイマーボタン^{切タイマー}（本体／リモコン）を押して、改めて運転停止までの時間を設定します。

チャイルドロックを使用する

幼児などが不用意にボタンに触れて設定が変わってしまうのを防ぎます。

1. 運転中に本体のチャイルドロックボタン^(ロック表示)を長押し（5 秒以上）する

- 「ピッ」と音がして、チャイルドロック表示ランプが点灯し、チャイルドロックが設定されます。
- この状態でボタンに触れても、設定が変更されることはありません。

2. チャイルドロックを解除するには、再度、本体のチャイルドロックボタン^(ロック表示)を長押し（5 秒以上）する

「ピッ」と音がしてチャイルドロック表示ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

※リモコンでチャイルドロックの設定・解除はできません。

お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

※ 特に吸気口・放熱口まわりは（空気の流れがあるため）ほこりがたまります。掃除機で吸うなどしてこまめにお手入れしてください。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。
- 本体に直接、水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともに、湿気の少ない場所に保存してください。
- お買い上げ時の箱に入れて保存される場合は、「本体の組み立てかた」（5 ページ）の逆の手順でキャスター付きベースを取りはずしてください。

※ はずしたネジは必ず本体に取り付け、なくさないように気をつけてください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていない（転倒オフスイッチが働いている）	置き場所を確認し、安定した水平な場所に置いてください
	・安全装置（温度ヒューズ）が働いている（4 ページ）	販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください
運転が止まってしまった	・切タイマーで運転を停止させた	再度運転ボタン ^{運転停止} を押してください
	・8 時間自動停止機能が働いている（7 ページ）	再度運転ボタン ^{運転停止} を押してください
エラー（E3）を表示している	・温度センサーの周囲温度が 40℃ 以上になっている。	温度センサーが感知する周囲の温度が 40℃ 未満の環境下で使用してください
においがする	・新品時に出る内部塗料などのにおい	使用とともに出なくなります
ボタンが反応しない	・チャイルドロックを設定している	チャイルドロックを解除してください（9 ページ）
本体を動かすとかカラカラ音がする	・転倒オフスイッチの音	問題ありません
運転中内部からカチッとカジーッと音がする	・ヒーターの通電や膨張・収縮による音	問題ありません
暖かにならない	・運転モードが LO（弱）、もしくは AUTO で室温より低い温度に設定されている	AUTO で室温より高い温度に設定する（7 ページ）
リモコンが動作しない	・チャイルドロックを設定している	チャイルドロックを解除してください（9 ページ）
	・電池が消耗している	新しい電池を入れてください（5 ページ）

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。